

平成31年市町村広報コンクール審査票(町村部)

○広報紙の名称「広報めいわ 10月号」

評価された点

【表紙】

- カヌーの躍動感がとても良い
- 特集のテーマ「子育て」とリンクした写真で、見出しもシンプルで読者に何を読んでほしいのかが明確に示されていて分かりやすい
- 写真の構図が良い。表情が表れ、親子のふれあいが感じられる
- カヌー体験をする父子の写真は楽しさが伝わってきて良い

【特集】

- 「明和町で子育てをする」が秀逸だ。町の子育て支援策を利用者や保育士の声を入れながら紹介したり、子育て支援にひかれて移住してきた若い家族を取り上げている。母子の笑顔の写真に前文をかませた裏表紙をはじめ、コメントを吹き出しにするなどレイアウトもきれいな
- 子育て特集が素晴らしい。2ページ目のモノクロの母子の穏やかな笑みがとても良い。他県から移住した夫婦の子育てを丁寧に追った6～7ページの記事は、利用者目線が徹底されていて、多くの人々の参考になったと思う。裏表紙も「集まれ！ キッズランド」「未来の私」とテーマが一貫している。広報誌編集者の「どうぞ、明和町で暮らして子育てをしてみてください！」という声が聞こえてくるようだった
- 6ページを割いていてインパクトがある。上から目線ではなく、現場の声を丹念に拾い集めた内容は好感が持てる。レイアウトも変化に富み、読者の気を引く
- 移住者の体験を含めて子育て支援策を総合的にみせている工夫が良い。稲田さんご夫妻の写真が構図を含めて良い。1行あたりの字数が多いのだが、適当なフォントの大きさと字間行間があるので、読みやすい

【その他】

- 「インフォ・ニュース」や「まちの話題」もさっぱりしていて見やすい。中学生の職場体験「未来の私」も子供の笑顔が満載で、楽しい紙面になっている
- 黄色の「めいわカレンダー」は便利だろう。「あれ、いつだったっけ？」と何度も広報をめくる手間が省ける
- 特集や情報コーナーの配分バランスが良い。全体的にゆったりしたレイアウトで文章もコンパクトで読みやすい。「中学生の職場体験」の中学生のコメントは手間を厭わない労作
- シンプルな作り。「未来の私」は若い世代を知ることができる企画。学年があればなお良かった
- 中学生の職場体験で中学生の声をたくさん入れたのは良かった。背表紙の「未来の私」は面白いコーナーだと思った
- 特集記事が「町の子育て支援」であることを踏まえ、表紙が父子の写真で、めくって2ページ目が母子の写真を全面で掲載しており、父母のバランスがしっかり取れていて良い

平成30年市町村広報コンクール審査票(町村部)

○広報紙の名称「広報しょうわ 8月号」

評価された点

【表紙】

- 特集と連動した写真とシンプルな見出し。何を伝えたいかがストレートに伝わる構成。小さく付けられた写真説明も親切
- 多くの顔が隠れずに入った良い写真。巻頭特集とも連動し、心地よい

【特集】

●特集1は選手や指導者のコメントが満載で、写真も多く、優れた内容だった。表紙を含め8ページを使う、大胆さを評価したい。少子化が進む中、いい企画だ。特集2は写真の出来、レイアウトの美しさが光る。文章を最小限に抑えたのも良かった。いい絵が祭りの楽しさ、迫力をすべて語る

●特集1は編集者の熱意が伝わる良い企画だと思う。町としてスポーツで盛り上げていこうという熱意が伝わって来る。子どもたち一人ずつのカットも多くあり、掲載された子どもたちにはさらなる励みになったことだと思う。町のあちこちで、町の人たちが広報誌を手にして「あ、これはあそこの〇×ちゃんだ!」と笑っている姿が浮かんで来る。

特集2は、写真の配色が豊かで、編集者のレベルが高いと感じた。撮影は、時間を変え、カメラの角度も微妙に変えている。単調にならないようにしたいという撮影者の工夫がうかがえる

●特集1は文章と写真を巧みに組み合わせるスポーツ少年団の魅力を十分に伝えている。子ども、保護者、指導者という多角的な視点から取材して記事に厚みを持たせている。特集2は大小の写真を組み合わせ、過不足なく説明を付けるのは意外に難しい。それをこなしつつ黒地に白い文字という選択も選ばれている。1ページのインデックスはすっきりしていてとても見やすい

●国体開催まで10年を機に村内のスポーツ少年団活動を育て、盛り上げようという意欲が感じられる。各チームをよく取材していて好感が持てる。夏祭りの写真が黒地に収められスタイリッシュに、子どもみこしはインスタ風の正方形でトリミングされて若々しさが出ている

●スポーツ少年団の特集は、子どもにどのようなスポーツをさせようか考えている人に役立つ良い企画だと感じた

【その他】

●表紙をめくってすぐの2ページ右スペースに「目次」があるのは、他のページの記事が探しやすくて良い

●写真を満載したオールカラーの紙面は迫力十分。色使いやレイアウトをページごとに変えてメリハリを付け、記事はコンパクトにまとめて詰め込みすぎず、大変読みやすい洗練された紙面構成になっている

●メリハリの効いた編集で安定感がある

●「姉妹都市訪問」の写真は斜め配置もあり、紙面に躍動感が生まれている

●「人事行政運営の公表」に、市政を理解してもらおうという姿勢を感じる

●「交流ひろば」のはつらつトークは、村外在住の出身者だろうか。村外に出ていてもこうしてつながっていることで将来のUターンにも繋がると期待できる

●「ちっちゃなこてん」は良いアイデア!

●特集や項目ごとに基調カラーが決まっていて、めくりやすい。写真配置などもマンネリにならないよう工夫が凝らされている

●情報メールなど防災関連を含めたQRコード掲載は、スマホ社会の時勢に合わせた好判断。毎月載せているならなお良い

●22~23ページのインフォメーションは1ページ当たりに入れた記事の本数のメリハリが付いていて読みやすい

平成31年市町村広報コンクール審査票(町村部)

○広報紙の名称「広報おうら 10月号」

評価された点

【表紙】

- 「ORA TOWN」の題字や帯見出しはモダンな印象
- 歓喜が伝わる写真。レイアウトに工夫がある

【特集】

- 「まちの専門店街」の誌面がしゃれている。都会のタウン誌もかなわないようなセンスの良さを感じた。これは女性読者を惹きつけるだろう
- 街角特派員レポートは柔らかな色使いで写真を多用し、ファッション誌のようなオシャレなつくり
- シャボン玉風の写真配置が楽しい。オープンに寄せる町民の期待や喜びを表しているし、多くの人に参加した雰囲気分かる
- 「まちの専門店街」の写真の使い方が良い。特派員の写真も可愛い
- 2～3ページの子どもがシャボン玉を吹いているように見せているのは面白いアイデアだと思う。子どもはもっと大きくしたかったが
- シャボン玉のイメージを活用した写真は、多くの町民が、オープンしたばかりの中央公民館で、今後、活躍する未来の楽しい様子が伝わってきて秀逸。見開きページを1ページとしてとらえてデザインしている点も良い

【その他】

- レイアウトが凝っている。中央公民館開館や「まちの専門店街」、「スマイルみつけた」の写真の使い方がおしゃれで個性を感じる。専門店街は内容も良い。街角特派員を起用したのが、「お役所の広報」さを感じさせない。センスの良さを感じる
- 「DREAM夢 若者紹介」が良い。Uターンした女性の短いインタビューだが、写真も凝っている。これから再びこの町で暮らしていくことになる彼女への、さまざまな応援になるだろう
- 余裕のあるレイアウトや簡潔な原稿、温かみのある配色などは統一感があり、まとまって見やすい。広報クイズや投稿募集など双方向への努力が現れている
- Informationは日程や場所、内容、申込先などを簡条書きにしている。簡潔でとても見やすく読者に親切
- 写真の使い方を含めたレイアウトがよく練られている。写真技術が高い
- 「みんなの講座」は企画そのものが素敵
- 特集も良いが、情報編を丁寧につくるのを心がけている様子がうかがえる
- 町政HOT NEWSは大きさを変えてメリハリを付けているところが良い。26～27ページ下の「スマイル見つけた」は面白い企画